

# 蚊が媒介する感染症に注意しよう!!



デング熱

ジカウイルス感染症

チクングニア熱

など

## 蚊が媒介する感染症

蚊は、国内のほとんどの地域に生息しています。近年は国際交流が進み、海外との人の往来も増えたことから、蚊が媒介する感染症が国内に持ち込まれ、流行するおそれがあります。

平成26年、東京都内の公園でデングウイルスを保有する蚊が確認され、多くの**デング熱**患者が発生しました。また、平成28年には、南米を中心に**ジカウイルス感染症**が流行し、妊娠中に感染すると胎児へ影響を及ぼす可能性があることから、大きな社会問題になりました。

これらの感染症は、基本的に**人から人に感染するものではなく、ウイルスを保有した蚊を介して感染するため**、蚊に刺されないよう正しい知識と予防方法を身に付けておくことが大切です。

## ◆感染経路◆



## 蚊の種類

蚊には多くの種類がありますが、その中でも**ヒトスジシマカ**や**アカイエカ**などが感染症を媒介します。これらの蚊は、我々の家の周りの小さな水たまりでも発生しています。



ヒトスジシマカ（ヤブカ）

大きさ：4.5 mm 程度

色：黒と白の縞々模様

特徴：昼行性で、<sup>やぶ</sup>の中から近くに寄つて来た人を吸血する。

主な感染症：デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱



アカイエカ（イエカ）

大きさ：5mm 程度

色：少し茶色っぽい灰色

特徴：夜行性で、家の中に侵入し吸血する。

主な感染症：ウエストナイル熱、日本脳炎

## 蚊が媒介する感染症の種類

蚊が媒介する主な感染症には、**デング熱やジカウイルス感染症、チクングニア熱、ウエストナイル熱、日本脳炎、マラリアなど**があります。

これらの感染症の多くは有効なワクチンや治療法がないため、予防のために**蚊にさされない**ことが重要です。

### デング熱

#### 特徴

- 東南アジアや南アジア、中南米などで流行している感染症で、患者は全世界で毎年約1億人にのぼります。
  - 日本では、平成26年に約70年ぶりに国内感染が確認されています。
  - デングウイルスを保有した蚊に刺された後、2～14日（多くは3～7日）経過してから、以下の症状を呈します。
    - ・発熱 ・頭痛 ・眼の痛み ・筋肉痛 ・関節痛 ・発しん
- ※重症型として、出血や血漿漏出を主症状とする**デング出血熱**となることがあります。

### 症 状

### ジカウイルス 感染症

#### 特徴

- 東南アジアや南アジア、アフリカ、中南米などで流行しています。
- 妊娠中に感染すると胎児に感染し、小頭症などを引き起こす可能性があります。
- 輸血や性行為による感染も報告されているため、WHOは、流行地から帰国した男女は、感染の有無に関わらず、最低6ヶ月間は性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えるよう推奨しています。
- ジカウイルスを保有した蚊に刺された後、2～12日（多くは2～7日）経過してから、以下の症状を呈します。  
なお、症状が軽いため、気づかない場合もあります。
  - ・軽度の発熱 ・発疹 ・結膜炎 ・筋肉痛 ・関節痛 ・倦怠感 ・頭痛等

### 妊婦、妊娠の可能性のある方へ

妊娠中にジカウイルスに感染すると、母体から胎児への感染を起こすことがあります。小頭症などの先天性障害を引き起こす可能性があります。妊娠期間中は、できる限り流行地への渡航を避けてください。

妊娠期間中にジカウイルス感染症が流行している地域に渡航歴がある、出国後2週間以内に症状が現れた場合は、念のため、医師に相談してください。



### チクングニア熱

#### 特徴

- 東南アジアや南アジア、アフリカ、中米などで流行しています。
  - チクングニアウイルスを保有した蚊に刺された後、3～12日（多くは3～7日）経過してから以下の症状を呈します。
    - ・発熱 ・関節痛 ・発しん
- ※ 重症化すると神経症状（脳症）や劇症肝炎を引き起こしたり、関節炎の後遺症が残ることがあります。

### 症 状

詳しくは、京都市のホームページを御覧ください。

京都市 蚊媒介感染症

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000202072.html>



## 戸外での蚊の対策

外出先で蚊に刺されないように以下の対策を実践してください。  
これらの対策は、海外の流行地に出かける場合も有効です。

### ✓ 蚊に近づかない！

- 下草が茂った日陰には蚊が多く生息しています。



### ✓ 蚊を寄せ付けない！

- 蚊が多い場所では**長袖**, **長ズボン**を着用しましょう。
- 虫よけスプレー**や**蚊取り線香**なども効果的です。

#### 海外に行く場合

### ✓ 現地の情報を確認！

- Dengue feverなどの発生地域は、国立感染症研究所などのホームページで公開されています。  
(参考) 国立感染症研究所ホームページ  
URL : <https://www.niid.go.jp/niid/ja>
- 海外に出かける前に現地の情報を確認しましょう。



長袖, 長ズボンを着用しましょう。



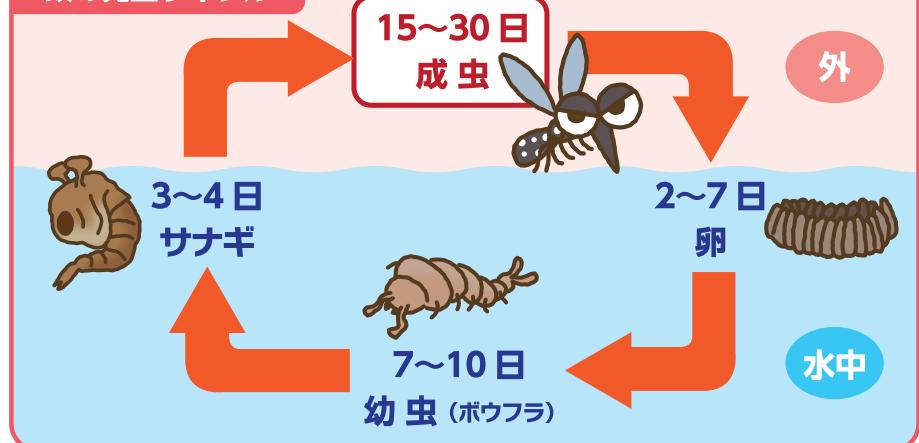
虫よけスプレー, 蚊取り線香等を使用しましょう。

\*虫よけスプレーの小児への使用は注意が必要です。  
商品の注意書きなどをよくお読みください。

## 蚊の発生時期

- 5月～11月にかけて発生します。
- 成虫の寿命は15日～30日で、**メス成虫のみ**が産卵のために吸血します。
- 蚊が冬を越す形態は、種類により様々です。例えば、ヒトスジシマカは卵の状態で冬を越します。

### 蚊の発生サイクル



## 家庭での蚊の対策

ご家庭やその周辺では、蚊の発生予防などが効果的な対策です。以下のことを確認・実践してみてください。



### 水たまりをなくす！

- 古タイヤ、自転車カバーのくぼみ、空き缶、防火バケツ、植木鉢等の小さな水たまりでも蚊の発生源になります。



### 雑草を刈り込む！

- 蚊は日陰を好み、植物の葉などにとまって休息します。
- 風通しの良い場所には、とどまることができません。



### 網戸や蚊帳を利用する！

- 網戸や蚊帳を使用した屋内への侵入予防は、自然にやさしい対策です。



## 問合せ先

- Dengue fever or Zika virus infection symptoms, etc., where mosquitoes act as carriers of infectious diseases. Please consult the medical and health center's infection symptom担当.
- For mosquito control inquiries, please consult the medical and health center's block生活衛生担当.



名称		電話	所在地
医療衛生センター	感染症担当	746-7200	京都市中京区御池通高倉西入高宮町200番地 千代田生命京都御池ビル2階、6階
	北東部ブロック 生活衛生担当 (北区、上京区、左京区、東山区担当)	746-7211	鳥丸通 烏丸御池 車屋町通 東洞院通 間之町通 高倉通 堺町通 柳馬場通 富小路通
	中部ブロック 生活衛生担当 (中京区、下京区担当)	746-7212	医療衛生センター
	南東部ブロック 生活衛生担当 (山科区、南区、伏見区担当)	746-7213	
	西部ブロック 生活衛生担当 (右京区、西京区担当)	746-7214	



この印刷物が  
不要になれば  
「難がみ」として  
古紙回収等へ！



京都  
CITY OF KYOTO